

## 第 3 回子ども・子育て会議における意見を踏まえた対応結果

## ●素案に関する意見と対応

意見 ※( )は前回会議資料3の該当ページ等	対応 ※( )は今回会議資料1の該当ページ等	修正有無
<p>行政の取り組みに対する満足度について、児童虐待等、満足度が低い項目について力を入れてほしい。( P35 )</p>	<p>・「虐待」「貧困」「障がい」に特化した基本目標を設定し取り組むこととしている。 ( P63~P67 )</p>	—
<p>社会資源調査結果の掲載について、支援者側の支援する上での困りごとや悩みについての結果が素案にあがっていないが注目すべきではないか。( P44~P46 )</p>	<p>・生活実態調査 P 77 の結果を P 45 に掲載する。 ・支援方法が分からない、体制が整っていないという意見については、『支援体制の充実』において連携体制の充実を図る。( P63 施策 NO44 )</p>	○
<p>事業の周知の仕方、アピールの方法を工夫する必要がある。( P56~P57 )</p>	<p>基本目標 1 施策の方向 2 に「相談体制・情報提供の充実」をかけた、周知に努める。 ( P56~P57 )</p>	—
<p>学習支援に関する取り組みについて ( P62 施策 NO43 ) ・学習支援の推進について、具体的にはどういった形で考えているか。 ・保護者支援も含め、5・6年生で差がつかない</p>	<p>・『学習支援の推進』( P63 施策 NO43 )を新規施策としてかけた、関係機関と連携して取り組むこととしている。</p>	—

<p>ように、1・2年生のうちに底上げをするやり方が大事だと思う。</p>		
<p>虐待に関する取り組みについて ( P63 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童虐待の相談窓口が分からない。</li> <li>・ 子育て健康課や保健センターでの相談事業が知られていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『虐待の予防と早期発見への取組みの強化』 ( P64 施策 NO45 ) に加え、新たに 『児童虐待防止の啓発と相談窓口の周知』 ( P64 施策 NO46 ) を設ける。</li> </ul>	○
<p>虐待に関する取り組みについて ( P63 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童虐待防止にもっと力を入れるべきではないか。</li> <li>・ 虐待の早期発見への対応について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標 3 施策の方向 2 「児童虐待防止対策の推進」を掲げ取り組むこととしている。( P64~P65 )</li> <li>・ 『養育支援事業の推進』 ( P65 施策 NO47 ) に盛り込んでいる。</li> </ul>	—
<p>『子どもが学ぶ機会の提供』について、こどもエコクラブを次期計画に加えてほしい。( P66 施策 NO57 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子どもの自然や社会に対する意識・関心を高め・・・」の部分に含む。</li> <li>・ 担当課に「環境課」を追加する。( P68 施策 NO58 )</li> </ul>	○
<p>自治会や老人会など地域の方々が幼小学校に行って子どもたちとふれあう機会づくりを進めていくべきではないか。( P69 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『特色ある学校づくりの推進』 ( P69 施策 NO61 )、『地域・学校園所・大学の連携の推進』 ( P71 施策 NO69 ) に盛り込まれている。</li> </ul>	—

●指標に関する意見と対応

意見	対応	修正有無
病児・病後児対応に対する指標も入れてはどうか。	・一時預かりに加え、病児・病後児保育の両方を指標として採用する。	○
3歳児保育について、職員が大変不足している状況下で3歳児保育を指標に入れ込むことが妥当なのか。	・指標を「3歳児保育の利用人数」から「保育所待機児童の数」に変更する。	○
父親の育児休業よりも正規雇用の母親の復職率の方が相応しいのではないかと。	・男性の育児取得が全国的にも課題となっていること、また男性の育児取得が進むことは、ワークライフバランスや労働環境の整備など各種取組結果の反映と考えるため、父親の育児取得率を指標に採用したい。	—
5か年計画の中で1年目、2年目、最終的な目標など各項目で定めているのか。	・事業量と確保方策については、毎年度の計画値を掲載しているが、達成度を図る指標については5年計画のため令和6年度の最終年の目標値を記載することとしたい。なお、実績については毎年度報告する。	—

●確認事項 ※第4回会議で回答を要する意見

意見 ※( )は前回会議参考資料3の該当箇所	第3回会議 回答	第4回会議 対応
<p>「心の問題に配慮した市相談体制の充実」について、スクールソーシャルワーカーなどソーシャルワーク機能の充実が大事と提案があったが、延利用数、利用状況、様子などを教えてほしい。(P68 施策 NO64)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会指導課が担当で、資料を持ち合わせていない。</li> <li>・子育て健康課の実感としては毎週のようにSSWと様々な相談や情報交換を行っており、非常に連携がとれていると実感している。</li> </ul>	<p>▼指導課にて回答を依頼済</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校の心の教室相談員の教室にはどのくらいの子どもが行っているのか。どんな状況か。</li> <li>・不登校に効果はあったのか。</li> </ul> <p>(P68 施策 NO64)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当は指導課なので分かりかねる。</li> <li>・件数等についても公表できるデータなのか指導課と相談する。</li> </ul>	<p>▼指導課にて回答を依頼済</p>